

事務事業チェックシート

事務事業No 520 事業名 下水道管理事業（雨水）

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	4	防災体制の充実
施策	1	災害に強いまちづくりの推進
取組方針	3	土砂災害・水害の予防対策の推進

事業種別	
事業期間	～
事業実施の根拠法令	
関連個別計画	
担当課・担当課長・Tel	下水道管理課 堀口 真也 435-1096
関連課	

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	下水道		
	款	下水道事業費		
	項	下水道管理費		
	目	下水道管理費		
	大事業	下水道管理事業		
中事業	下水道管理事業（雨水）			

1 事業内容

事業目的	「誰・何」をどのような状態にする」ための事業か 公共下水道区域内の雨水対策事業		全体事業概要 公共下水道区域内の下水道管等の維持管理、ポンプ施設の運転管理等を行う。				
事業内容		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		雨水ポンプ場維持管理	雨水ポンプ場維持管理	雨水ポンプ場維持管理	雨水ポンプ場維持管理	雨水ポンプ場維持管理	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	363,611	340,582	356,322	337,163	390,106	371,335	341,034		341,034	
伸び率 (%)	-	-	▲2.0%	▲1.0%	9.5%	10.1%	▲12.6%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	13,867	11,768	13,867	15,843	15,080	15,133			
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0			
	小計	13,867	11,768	13,867	15,843	15,080				
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他				24,256		181				
一般財源（税等）	363,611	340,582	356,322	312,907	390,106	371,154	341,034		341,034	
所要人数（人）	正規職員	1.87	1.58	1.87	1.99	1.90	1.9			
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0			
主な予算内訳										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
				目標値	実績値	達成度 (%)	目標値	実績値
点検回数			目標値	3,672	3,662	3,662	3,674	3,674
			実績値	3,672	3,662	3,662		
			達成度 (%)					
雨水ポンプ場管理箇所		件	目標値	11	11	11	12	12
			実績値	11	11	11		
			達成度 (%)					
雨水ポンプ場修繕箇所		件	目標値					
			実績値	20	21	33		
			達成度 (%)					

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	当事業は、雨水ポンプ場運転管理事業と同様に防災対策として不可欠である。
見直し・改善内容	事業の充実を図るためには、コストの拡大は避けられない。